

出演者プロフィール

永田陽子(朗読)

伊勢市出身。伊勢市の地域劇団、「劇団伊勢」所属。高校時代、演劇部に所属しながら、地元のアマチュア演劇で活動。その後、活動拠点を名古屋に移し、ストレートプレイ、歌舞伎、オペレッタ等、様々なジャンルの舞台へ出演。現在は劇団伊勢にて、地元の題材を中心に、脚本、演出、役者として活動。また、テレビドラマ等の出演、方言指導等にも関わる。所属している劇団伊勢は「三重県文化奨励賞」「三十三ふるさと三重文化賞」を受賞。



高橋真珠(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科卒業後、同大学ディプロマコース在席中にアスペン音楽祭に参加した際に行われたフェロシップコンクールで受賞し、これを機に渡米。シンシナティ音楽大学及びクリーブランド音楽院(修士課程)卒業。夏期にはロンドンマスタークラス、スイス・ティボーヴァルガフェスティバル等に参加し、スカラシップを授与、記念コンサート等に出演。兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、香港シンフォニエッタ、ニュージーランド、オークランド管弦楽団奏者を務め、現在は三重県をはじめ西日本を拠点に演奏活動や後進の指導にあたっている。



畠中真理子(ピアノ)

三重県伊勢市に生まれる。松阪女子高校音楽科を経て、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。ロータリー財団奨学生としてドイツ国立ケルン音楽大学に留学。同大学を卒業後帰国。帰国記念リサイタル以降、ソロリサイタルのほか室内楽も積極的に取り組み、東京都交響楽団メンバー、大阪フルハーモニーメンバー、ベートーヴェンカルテットと共演。2004年まで皇学館大学教育学部、三重高校音楽コース非常勤講師。村井楽器上級科受験クラスでも多くの後進の指導に当たってきた。日本演奏連盟会員。



廣めぐみ(ソプラノ)

国立音楽大学卒業、(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第17期研究生修了、国立音楽大学音楽研究所古楽声楽コース修了。「魔笛」第一の童子でデビュー。「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「カルメン」「こうもり」他、交響曲、レクイエムやミサ曲のソリストを務める。第10回みえ音楽コンクール第1位、岡田文化財団賞受賞。平成25年度三重県文化新人賞受賞。第27回全国菓子大博覧会(お伊勢さん菓子博2017)開会式にて国歌独唱。三重オペラ協会会員、IMT伊勢音楽劇場会員。



脇岡総一(オーボエ・指揮)

東京芸術大学音楽学部卒業。その間、日本音楽コンクール入選、安宅賞受賞。その後東京都交響楽団首席オーボエ奏者をつとめる。武満徹主催の「ミュージックツデー」等を始めとする数多くの演奏会に出演。ウィーン・トリオ、イングリッシュ チェンバーオーケストラ等海外の演奏家との共演も数多く、日本を代表するオーボエ奏者として活躍する。退団後、高知大学教育学部教授、茨城大学教育学部特任教授を歴任。その間、指揮者として「北九州グランフィル管弦楽団」「大阪交響楽団」など指揮者としての活動の幅を広げている。現在、平成音楽大学客員教授、高知大学名誉教授、津市久居アルスプラザ館長。



伊勢少年少女合唱団

故・小山喜雄氏により2007年再結成。2018年、欧州マルタ共和国での【欧州文化首都 ヴアレッタ 2018「国際青少年音楽祭」】に出演。同年秋、F1日本グランプリ決勝(鈴鹿サーキット)で国歌斉唱を務める。2019年、SOPA合唱団を伊勢に招き「国際青少年音楽祭 in 伊勢」を開催。

響ホールXmas合唱団

女声コーラス「アマ・ポーラス」、混声合唱団「楡」、皇学館高等学校有志メンバーなどによって今回の演奏会のために結成された合唱団。

小川智津留(合唱指導・指揮)

松阪女子短期大学声楽科卒業。「コン・ファン・トゥッテ」デスビーナでオペラデビュー。モーツァルト、林光、メロディ、嵐野英彦、シュトラウス2世他多数オペラ出演。現在、「アマ・ポーラス」「楡」「的矢ラブリーズ」主宰。IMT伊勢音楽劇場会員、女性ユニット「ナチュラル」メンバー。伊勢市立小俣中学校、私立皇学館中学校非常勤講師。

坂口晴香(合唱ピアニスト)

伊勢市出身。ヤマハミュージックアカデミー 指導者養成科卒業。ヤマハ音楽教室システム講師をつとめる。現在、自宅教室にて、ピアノ、エレクトーンの指導にあたっている。伊勢少年少女合唱団、伴奏ピアニスト、指導スタッフ。